

# いせ



第75号

令和6年5月1日号

発行／伊勢市議会  
編集／議会のあり方調査特別委員会  
広報広聴検討分科会

## 市議会だより

題字 二見浦小学校5年 川井 穂乃華 さん



### 主な記事

- 3月定例会の概要……………2ページ
- 予算特別委員会の概要……………3～5ページ
- 市政を問う(一般質問)……………9～13ページ
- 分科会の視察……………14～15ページ

「桜と宮川駅にくる電車」 場所：宮川駅  
令和5年度伊勢市の景観絵画コンクールより  
最優秀賞(低学年の部)  
小俣小学校2年 <sup>なかやま</sup> 中山 <sup>あづき</sup> 愛月さん  
の作品を採用しました。

# 令和6年 3月定例会

# 令和6年度 各会計予算を可決

## 3月定例会の概要

令和6年3月市議会定例会は、2月19日から3月15日までの26日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和6年度予算や令和5年度補正予算をはじめとする61議案が提出され、本会議、予算特別委員会、各常任委員会に



本会議での市長提案説明（2月19日）

において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決・承認・同意しました。

その他、請願1件を採択、発議3件を可決しました。

3月定例会提出議案の議決結果は、7／8ページをご覧ください。

また、2月26日および27日の本会議では、1会派および8人の議員が一般質問を行いました。

一般質問の詳細は、9／13ページをご覧ください。

なお、3月15日の本会議において、「令和6年度伊勢市一般会計予算」外4件について、反対討論がありました。

## 当初予算の概要

令和6年度

伊勢市一般会計予算総額

549億4900万円

令和6年度予算は、前年度予算と比較して4.9%（25億7550万円）の増額となりました。

増額の主な要因は、社会保障関係費が依然として高水準で推移していること、また、物価高騰に関連して、事業実施に必要な経費が増加傾向にあることによるものです。

令和6年度の重点施策として、「次期ご遷宮に向けたまちづくり」、「人口減少・少子化対策」、「スマートシティの推進」の3つを掲げ、取り組むための予算編成が行われました。

## 重点施策の主要取組

### 次期ご遷宮に向けたまちづくり

観光キャンペーン  
伊勢志摩せんぐう旅博の推進

お木曳行事に向けた  
まち全体の機運醸成



歩きたくなる まちなか創出  
ウォークアブル社会実験の実施

郷土資料館の整備

### 人口減少・少子化対策

こども医療費無償化  
所得制限を撤廃  
窓口での支払い不要

子ども読書支援Project



奨学金返還を支援  
※代理返還する企業に助成

人材確保の促進

### スマートシティの推進

行かなくてよい窓口推進  
証明書コンビニ交付手数料  
100円減額(期間限定)

書かなくてよい窓口導入



自治会活動のデジタル化  
に向けたサポートの充実

伊勢志摩観光型MaaS  
の活用

3月定例会日程

2月

19日・本会議

(議案の提案説明等)

・全員協議会

・総務政策委員会

26日・議会運営委員会

・本会議(委員会審査付託・一般質問等)

・予算特別委員会

(全体会)

27日・本会議(一般質問等)

29日・予算特別委員会

(分科会審査

(2月29日～3月6日)

・産業建設分科会

3月

1日・産業建設分科会

4日・教育民生分科会

5日・教育民生分科会

6日・総務政策分科会

8日・産業建設委員会

11日・教育民生委員会

12日・総務政策委員会

13日・予算特別委員会

(全体会)

15日・議会運営委員会

・本会議(議案採決等)

・総務政策委員会



伊勢市議会本会議場

予算特別委員会を設置

2月26日の本会議において、「令和6年度伊勢市一般会計予算」外8件を詳細に審査するために予算特別委員会を設置し、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」および「産業建設分科会」の3つの分科会を設けました。

その上で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和6年度予算について、2月29日から3月6日の5日間、それぞれの分科会を開催し、審査しました。

各分科会審査の詳細は、4〜5ページをご覧ください。



予算特別委員会の岡田委員長(左)と北村副委員長(右)



予算特別委員会・総務政策分科会 (3月6日)



予算特別委員会・教育民生分科会 (3月4日)



予算特別委員会・産業建設分科会 (2月29日)

分科会の日程

2月

29日・産業建設分科会

3月

1日・産業建設分科会

4日・教育民生分科会

5日・教育民生分科会

6日・総務政策分科会

審査の結果

賛成多数で可決すべしと決定

・一般会計

・国民健康保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険特別会計

全会一致で可決すべしと決定

・観光交通対策特別会計

・土地取得特別会計

・病院事業会計

・水道事業会計

・下水道事業会計

予算特別委員会の各分科会審査において、意見のあった主な項目を掲載しています。

予算審査

産業建設分科会（2月29日、3月1日）

○一般会計

総務費 コミュニティバス、自転車の交通ルール啓発など  
 労働費 ITパスポート取得支援、障がい者雇用促進セミナー、雇用就労支援など  
 農林水産業費 集団営農のための取り組み、ワイン特区の効果を活用した競争力強化チャレンジ応援事業、食育推進、獣害対策、水産振興など  
 商工費（仮称）伊勢市ビジネスサポートセンター、地域おこし協力隊、商店街のA Iカメラを活用した通行量調査など  
 観光費 伊勢市駅手荷物預かり所の改修、二見ビーチ活性化、外国人観光客誘致など  
 土木費 地籍調査、通学路交通安全プログラム、道路整備、まちなかウォークブル推進、無電柱化の推進、ブロック塀撤去など

○特別会計

- ・観光交通対策特別会計 道路や駐車場の体制見直し時における対応
- ・土地取得特別会計

○企業会計

- ・水道事業会計 受水費縮減、漏水率改善など
- ・下水道事業会計 雨水整備、多額となった繰越工事への指摘など



産業建設分科会(2月29日)



(3月1日)



産業建設分科会の審査結果を報告する福井会長  
(3月13日)

予算審査

教育民生分科会（3月4日、5日）

○一般会計

民生費 民生委員・児童委員、伊勢市駅前健康福祉ステーション、介護予防、孤独・孤立対策、ヤングケアラー支援など  
 衛生費 予防接種、妊娠出産支援、ごみの減量、プラスチック製品の分別・資源化など  
 教育費 学習支援員、部活動指導員、不登校対策、インクルーシブスポーツなど

○特別会計

- ・国民健康保険特別会計 特定健診、マイナンバーカードの健康保険証利用
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計 認知症サポーター養成、基準緩和型サービス

○企業会計

- ・病院事業会計 健全な経営と質の高い医療の提供、人材確保と働き方改革、BCPの更新



教育民生分科会(3月4日)



(3月5日)



教育民生分科会の審査結果を報告する宮崎会長  
(3月13日)

**予算審査**

**総務政策分科会（3月6日）**



総務政策分科会(3月6日)

**○一般会計**

**総務費** 電子入札システム、会計年度任用職員の処遇改善、自衛隊への募集対象者の情報提供、職員採用、外部人材の活用、デジタル行政の推進、ふるさと応援寄附金、出会い・結婚支援事業、移住施策、地域活動のデジタル化、防犯カメラの設置・維持管理、各種証明書のコンビニ交付手数料の減額、行かなくてよい窓口の促進など  
**消防費** 消防団員の充足率、防災備蓄倉庫の整備など  
**教育費** 市民芸能祭、郷土資料館の整備など



総務政策分科会の審査結果を報告する協会長  
(3月13日)

**予算特別委員会（3月13日）・本会議（3月15日）**

3月13日の予算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会審査の結果の報告と採決がありました。また、これを受け、3月15日の本会議で、岡田予算特別委員会委員長が予算全体の審査結果を報告し、採決の結果、すべて可決されました。



予算特別委員会(3月13日)



本会議(3月15日)



予算特別委員会の審査結果を報告する岡田委員長  
(3月15日)

**予算・決算審査について**

議会のあり方調査特別委員会の政策等検討分科会では、予算・決算審査のあり方について、協議を重ねてきました。現在、「総務政策分科会」、「教育民生分科会」、「産業建設分科会」の3つの分科会をおく、特別委員会（分科会方式）で審査をしていますが、今期（令和7年9月定例会まで）は、現在の分科会方式を継続することとなりました。以降については、来期の議会で決定することとし、現在の政策等検討分科会では、来期の議会で予算・決算審査の審査形態がスムーズに決定できるよう、他の形態も含めて継続して協議し、取りまとめていくこととしています。

3月定例会で審議した  
主な議案の内容

令和5年度補正予算

令和5年度伊勢市一般

会計補正予算(第10号)

4億5250万円

国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰生活支援給付金の支給に要する経費について補正するもの。

住民税均等割のみ課税世帯に1世帯当たり10万円、また、当該世帯および住民税非課税世帯において扶養されている18歳以下の子1人につき5万円を支給する。

令和5年度伊勢市一般  
会計補正予算(第11号)

▲3億7028万円

通常の最終的な計数整理のほか、国補正予算第1号の配分内示に伴う事業費について、補正予算を計上したものの。

条例

伊勢市子ども家庭支援  
ネットワーク条例の一部  
改正

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の一部改正に伴い、伊勢市子ども家庭支援ネットワークを同法に基づく法定協議会として位置付けるとともに、「被害者の保護」に被害者の自立を支援することを定めるもの。

施行期日

令和6年4月1日



調整機関となる福祉  
総合支援センター  
(MiraiSE 7階)

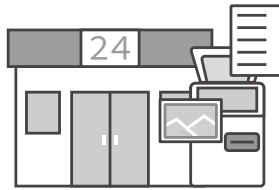


伊勢市手数料徴収条例の  
一部改正

コンビニエンスストア等に設置された多機能端末機による住民票の写し等の交付について、利用を促進するため、令和6年度に限り、手数料を100円減額するもの。

施行期日

令和6年4月1日



証明書の種類	窓口	コンビニ
住民票の写し	200円	100円
印鑑登録証明書	200円	100円
戸籍全部(個人)事項証明書	450円	350円
戸籍の附票の写し	200円	100円
所得(課税)証明書 課税・非課税証明書	200円	100円

市役所窓口での交付は従来通りの料金です

詳しくはこちらから→



伊勢市福祉医療費の助成  
に関する条例の一部改正

福祉医療費の助成について、窓口負担が無料となる対象を拡大するとともに、その他規定の整備を行うもの。

施行期日

令和6年9月1日  
(一部の規定を除く)

伊勢市特別保育の実施に  
関する条例の一部改正

一時保育に係る特別保育料について、利用者の区分の見直しを行い、0歳から2歳までの児童の初回および生活保護世帯等に属する児童の利用に係る特別保育料を無料とするとともに、その他規定の整備を行うもの。

施行期日

令和6年4月1日



伊勢市営住宅管理条例の  
一部改正

市営住宅の入居者資格のうち同居親族要件を廃止するとともに、その他規定の整備を行うもの。

施行期日

令和6年4月1日

伊勢市特定公共賃貸住宅  
の設置及び管理に関する  
条例の廃止

市営住宅旭団地内の空き室を有効利用するために、特定公共賃貸住宅としての用途を廃止し、一般の市営住宅に転用して提供するもの。

施行期日

令和6年4月1日



## ◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

### 全会一致の案件

(議案)

議案番号	案件名	議案番号	案件名
1	専決事項の承認を求めること (令和5年度伊勢市一般会計補正予算(第10号))	31	伊勢市子ども家庭センター条例の制定
6	令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計予算	32	伊勢市特別保育の実施に関する条例の一部改正
7	令和6年度伊勢市土地取得特別会計予算	33	伊勢市児童発達支援センター条例及び伊勢市 子ども発達支援施設条例の一部改正
8	令和6年度伊勢市病院事業会計予算	34	伊勢市障害児放課後等支援施設条例の一部改正
9	令和6年度伊勢市水道事業会計予算	35	伊勢市障がい者基幹相談支援センター条例の 一部改正
10	令和6年度伊勢市下水道事業会計予算	36	伊勢市国民健康保険条例の一部改正
11	令和5年度伊勢市一般会計補正予算(第11号)	37	伊勢市介護保険条例の一部改正
12	令和5年度伊勢市国民健康保険特別会計補正 予算(第2号)	38	伊勢市指定地域密着型サービスの事業の人員、 設備及び運営に関する基準を定める条例 の一部改正
13	令和5年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補 正予算(第2号)	39	伊勢市指定地域密着型介護予防サービスの事業 の人員、設備及び運営並びに指定地域密着 型介護予防サービスに係る介護予防のための 効果的な支援の方法に関する基準を定める条 例の一部改正
14	令和5年度伊勢市介護保険特別会計補正予算 (第3号)	40	伊勢市指定介護予防支援等の事業の人員及び 運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予 防のための効果的な支援の方法に関する基準 を定める条例の一部改正
15	令和5年度伊勢市観光交通対策特別会計補正 予算(第2号)	41	伊勢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び 運営に関する基準を定める条例の一部改正
16	令和5年度伊勢市土地取得特別会計補正予算 (第1号)	42	伊勢市県営土地改良事業に係る特別徴収金の 徴収に関する条例の制定
17	令和5年度伊勢市病院事業会計補正予算(第3号)	43	伊勢市漁港管理条例及び伊勢市風致地区内 における建築等の規制に関する条例の一部改正
18	令和5年度伊勢市水道事業会計補正予算(第2号)	44	伊勢市営住宅管理条例の一部改正
19	令和5年度伊勢市下水道事業会計補正予算 (第2号)	45	伊勢市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に 関する条例の廃止
20	伊勢市表彰条例の一部改正	46	伊勢市上水道給水条例の一部改正
21	伊勢市行政手続における特定の個人を識別す るための番号の利用等に関する法律に基づく 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に 関する条例の一部改正	47	三重地方税管理回収機構規約の変更に関する 協議
22	伊勢市監査委員条例及び市長等の伊勢市に 対する損害賠償責任の一部免責に関する条例 の一部改正	48	鳥羽市との定住自立圏形成協定の変更
23	伊勢市附属機関条例の一部改正	49	志摩市との定住自立圏形成協定の変更
24	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク条例の一 部改正	50	玉城町との定住自立圏形成協定の変更
25	伊勢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例 の一部改正	51	度会町との定住自立圏形成協定の変更
26	伊勢市会計年度任用職員の給与等に関する 条例等の一部改正	52	大紀町との定住自立圏形成協定の変更
27	伊勢市職員給与条例の一部改正	53	南伊勢町との定住自立圏形成協定の変更
29	伊勢市福祉医療費の助成に関する条例の一 部改正	54	明和町との定住自立圏形成協定の変更
30	伊勢市特定教育・保育施設及び特定地域型 保育事業の運営に関する基準に関する条例 の一部改正		

〔議案〕(続き)

議案番号	案件名	議案番号	案件名
55	財産の処分	58～59	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
56	市道の路線の認定	60	伊勢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
57	伊勢市副市長の選任につき同意を求めること	61	伊勢市市税条例の一部改正

〔請願〕

1	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願
---	------------------------

〔発議〕

2	常任委員会の閉会中の継続審査・調査	3	再審法改正を求める意見書の提出
---	-------------------	---	-----------------

賛否の分かれた案件

〔議案〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
議員名	三野	川口	大西	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	浜口	宿	
議案番号	泰嗣	浩	要一	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	和久	典泰	
議案番号	案件名																						審議結果	
議案第2号	令和6年度伊勢市一般会計予算																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第3号	令和6年度伊勢市国民健康保険特別会計予算																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第4号	令和6年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第5号	令和6年度伊勢市介護保険特別会計予算																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第28号	伊勢市手数料徴収条例の一部改正																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

〔発議〕

発議第1号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出																		賛成多数				原案可決	
	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

・○は賛成、×は反対。藤原議長は通常採決に加わりません。

議会日誌

**2月**

- 5日・産業建設委員協議会
- 6日・教育民生委員会
- 。同協議会
- 。各派代表者会議
- 7日・総務政策委員会
- 。同協議会
- 。政策等検討分科会
- 9日・議会運営委員会
- 。同協議会
- 。議会ICT検討分科会

**3月**

- 12日・総務政策委員協議会
- 13日・議会のあり方調査特別委員会
- 。各派代表者会議
- 15日・全員協議会
- 。広報広聴検討分科会
- 26日・広報広聴検討分科会
- 19日・全員協議会
- 。各派代表者会議
- 。広報広聴検討分科会
- 。同協議会
- 19日～3月15日
- 。3月定例会



# 市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

## 1会派 および 8人の議員が質問

2月26日	勢風会 (会派代表質問)	9ページ
	辻 孝記	10ページ
	中村 功	10ページ
	吉井 詩子	11ページ

2月27日	野崎 隆太	11ページ
	大西 要一	12ページ
	川口 浩	12ページ
	楠木 宏彦	13ページ
	宮崎 誠	13ページ

**議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

**一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

### 一般質問

#### 会派代表質問 勢風会

#### 能登半島地震の経験を伊勢市の防災に活かしてはどうか

動画はこちらから



**答** 積極的に情報収集を行い、できる限りの準備をしていきたい

**問** 住宅耐震化は重要である。現在の状況と耐震化を進める考えは。

**答** 令和3年度末で84・1%と推計される。無料の耐震診断や耐震補強工事の補助を行ってきた。対象となる住宅に向いて、補助事業の拡充等説明していきたい。

**問** 被災地では、水道・下水道に大きな被害があり、断水等が続いている。伊勢市の対策は。

**答** 病院等の災害時重要給水施設への水道管や、口径300ミリメートル以上の基幹管路を中心に耐震化に取り組んでいる。下水道施設についても、管の液状化対策や、ポンプ場の耐震化等に取り組んでいる。

**問** 避難所運営マニュアルの状況と目標は。

**答** 現在、8地区のまちづくり協議会に作成していただいた。避難訓練等を通じて地域の皆さんとマニュアルの検証をしていきたい。令和7年度末で16地区を目標としている。

**問** 災害ごみの処理について、民間事業者との連携が必要では。

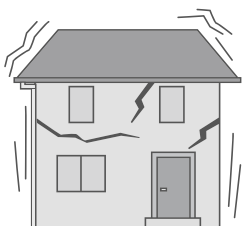
**答** 災害ごみの処理については、三重県災害等廃棄物処理応援協定に基づき、県や市町と連携しているが、能登半島の状況を踏まえ、その他の関係機関とも協議・連携を考えたい。

**問** 避難行動要支援者の状況は。

**答** 防災ささえあい名簿に約3500名、個別避難計画は、令和5年7月末で、1714名。介護支援専門員にも協力していただいている。

**問** ひきこもりの方の避難行動要支援者対策が必要では。

**答** 支援計画の中に、災害時の避難の内容についても盛り込んでいきたい。



一般質問



つじ たか き 孝記

(公明党)

### 災害時における孤立住民の安否確認方法について問う

動画はこちらから



**答** 孤立が想定される地区に衛星携帯電話を配備し、毎年通信訓練を行っている

**問** 避難生活施設の機能強化として、空調設備やバックアップ電源、WiFi環境整備、トイレの洋式化を進めるべきでは。

**答** WiFi環境は3か年計画で進め、令和6年度で完了する。学校の体育館の空調設備は重要であり検討していく。バックアップ電源は国や県の補助金等を注視し研究していく。トイレの洋式化は、庁内で連携し検討していく。

**災害用井戸の推進について**

**問** 断水時の生活用水として災害用井戸の整備が必要だが、市民登録の災害用井戸の状況や管理は。

**答** 小中学校等の公共施設に17か所あるが、今後設置の可否について調査する。災害時に市民から開放いただく災害用井戸は271か所あり、登録時に水質検査をしているが、改めて使用の可否について確認する。

**備蓄品の拡充について**

**問** 避難所への授乳室やテントの配備状況は。

**答** 各避難所にテントを2張配備し、プライバシーを確保するパーティションを一定程度備蓄している。

**問** パーティションには後付できる屋根もあるが。

**答** 屋根の追加設置については研究していきたい。

**問** 離乳食や妊産婦・幼児特有の必需品等を充実させるべきでは。

**答** 多様な備蓄は難しいが、能登半島地震等の情報も参考に改めて研究する。

**災害ボランティア支援**

**問** 大規模災害時にボランティアに行く方の宿泊・交通費の支援を兵庫県が行っている。伊勢市で実施の考えはないか。

**答** 市の支援制度は研究していくが、みえ災害ボランティア支援センターの助成制度を周知していく。



一般質問



なかむら いさお 中村 功

(絆)

### ランドセルの無償配布について問う

動画はこちらから



**答** 他市町村の事例を参考にしながら研究していきたい

**問** ギガスクール構想に伴う通学時におけるタブレット端末を含めたランドセルの重さの認識は。

**答** 負担に感じる重さになる場合があると認識している。

**問** 教科書やノート等を含むと約5キログラムにもなると思うが、その対策は。

**答** 家庭学習に不要な教科書は持ち帰らず、データによる宿題やアプリの活用等に取り組む。

**問** タブレット端末の破損や故障は。

**答** 令和4年度で110台、令和5年度（令和6年1月末現在）で136台。約9割が落下等による画面等の破損である。

**大谷選手から寄贈されたグローブについて**

**問** グローブの利用状況は。

**答** 1月中に全小学校に配布し、体育の時間や学級活動、昼休みで使用している。

**問** グローブの管理は。

**答** 校長室や職員室で保管する等適切に管理している。



小学生の通学風景

**問** 市民に対しての対応は。

**答** 学校だよりで保護者に紹介したり、学校公開日に昇降口や職員室前等に展示し、来校者に見てもらったり、手に取ってもらったりもしている。

**問** 今後の教育にグローブをどのように活かしていくのか。

**答** 集会や授業の中で、大谷選手からのメッセージやグローブを送った想い等を児童に伝えていきたい。グローブを使う際にもその想いを感じ取ってもらえればと考えており、こどもたち自身の将来に活かしていきたい。

一般質問



よしい うたこ  
吉井 詩子

(公明党)

こどもの意見聴取にどう取り組むか

動画は  
こちらから



答 こども施策に反映できるよう具体的な方法を検討する

問 三重県ではこども基本法に基づくこども基本計画の策定が予定されている。市においても、子育て環境のさらなる充実のために早期にこども計画を策定すべきではないか。

答 できるだけ早期の策定に向け検討していきたい。

問 マイナンバーカードを健康保険証だけでなく、こども医療費や障害者医療費等の受給者証として取り組む自治体に、国からシステム改修について補助がある。どう取り組むのか。

答 マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認については、医療機関のご協力を得ながら、導入に向け検討したい。

問 健康寿命の延伸について聞きたい。

答 平成30年は男性が77・9歳、女性が80・7歳、令和2年は男性が79・3歳、81・4歳であるので、介護予防の事業の効果がみられると考えられる。



問 団塊ジュニアの世代が65歳、団塊世代が85歳以上となる2040年に向けての展望は。

答 医療と介護のサービス基盤の持続、必要なサービスの必要な方への提供、健康寿命の延伸、福祉の人材確保、ICT化の推進、移送サービスも含めた地域での取り組みの拡大等、手打てを打っていきたい。向こう三軒両隣といった地域間の関係性が重要である。こども・障がいのある方・高齢者それぞれが地域で自分らしく生活できる地域づくりに取り組みたい。

一般質問



のざき りゅうた  
野崎 隆太

(自由民主党)

市内で新たな上場企業を育成、また機運醸成についての考えは

動画は  
こちらから



答 スタートアップを含む創業支援とともに、機運が高まるような支援の在り方を検討したい

問 市のスタートアップに対する考えは。

答 スタートアップや創業支援は、新たに実施する伊勢市ビジネスサポートセンターにおいて創業支援員と企業支援員を配置し、機運醸成、また課題解決等支援を行っていききたい。

問 皇學館大学や鳥羽商船高等専門学校との連携、学内スタートアップ推進についての考えは。

答 皇學館大学とは地域の活性化に関すること、また鳥羽商船高等専門学校とは地域産業の振興に関すること等について、それぞれ協定を結んでいる。学内スタートアップについては、学校方針や学生需要等を把握し、情報共有と連携をしっかりと行っていきたい。

問 行政が行うべきは、方針や需要を聞くことではなく、理解の促進や推進ではないか。

答 大学等の高等教育機関には、市との協定に基づく取り組みに限らず、既存企

業、スタートアップが革新的な構想を実現するための調査研究上の助けになることが期待されている。高等教育機関に限らず、着想をイノベーションにつなげていく環境となり得る場として、市内でも大規模なコワーキング施設が立て続けにオープンしており、このような民間の取り組みも研究しながら連携を模索していくことも必要と考えている。また、ビジネスサポートセンターにおいても同様に、イノベーションの種を受け入れ芽吹かせることができる場となるよう、関係機関等と連携しながら取り組んでいきたい。



伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン

一般質問



おおにし よういち  
**大西 要一**

(勢風会)

### 動物の愛護および管理に関して、 どのように認識し、取り組んでいるのか

動画は  
こちらから



**答** 多くの市民が飼っている犬や猫の適正な飼育を促進し、飼い犬や猫の不妊・去勢手術への助成をしている

**問** ペットに関する相談や苦情等はないのか。  
**答** 虐待に関するものはない。ペットの鳴き声や糞尿の臭いといった苦情がある。件数として毎年50件程度となっている。

**問** どのようなことが虐待にあたるのか。  
**答** 動物の虐待は、不必要に苦しめるといふ行為が該当する。殺したり、傷つけたりするばかりでなく、必要な世話をしない、けがや病気の治療をしない、十分な餌を与えないといったネグレクト（飼育放棄）も虐待に含まれる。

**問** 今後、啓発や取り組みはどんなことをしていくのか。  
**答** 動物愛護週間等の機会を通して、かわいがるだけでなく、ペットの飼い方のマナー向上、最期まで責任をもって飼ってもらうよう啓発を行っていく。また、市独自で行っているTNR活動を継続していく。



他市の弓道場での稽古

**問** 弓道の普及について  
**答** 伊勢市弓道協会が行う、親しみながら基本を学べる弓道教室の広報や総合型地域スポーツクラブとの連携に向け、橋渡しもしていきたい。

**問** 市民武道館や既存の施設を活用して武道の振興を図ることだが、津市や松阪市などは、総合武道場として弓道場も併設されている。市民弓道場についてどう考えているのか。  
**答** 市内で弓道を愛好されている方は、神宮弓道場を拠点に活動している。紹介いただいた他市の状況も見させていただきたい。

**問** 負担減の原資となつている基金残高は令和5年度に10億8000万円、令和6年度に6億8000万円と急減する見込みだが、一般会計からの繰り入れ等の対策は。  
**答** 国の動向を注視するとともに、健康づくり等で医療費の抑制に努める。

**問** 国保運営の都道府県単一位で、三重県は令和11年度に向けて保険料水準を統一していく方針である。伊勢市の保険料が高くなる可能性があるが、どう対応していくのか。  
**答** 県の動向を注視しながら適正に対応していく。

一般質問



かわぐち ひろし  
**川口 浩**

(日本共産党)

### 国民健康保険料が2年連続で引き上げとなるが、負担軽減の努力は

動画は  
こちらから

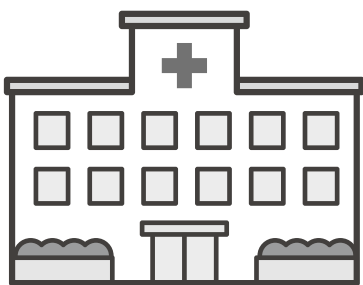


**答** 国保の財政調整基金を取り崩して保険者の負担を和らげていく

**問** 国、地方自治体による婚活支援は個人への結婚観、家族観の押し付けで問題がある。平成27年度以降、毎年1200万円前後の予算を計上しているが、成婚報告は6組で、事業継続の根拠は乏しいのではないか。  
**答** 出会い・結婚支援事業について

**問** 津市の出会い応援事業は令和5年度当初予算が72万3000円で、国の交付金を使って同市の持ち出し分は18万1000円となっている。伊勢市に比べて非常に少額だが。  
**答** 伊勢市は近隣市町とも連携し、支援するため、いせ出会い支援センターに運営を委託している。利用者への助言等のために専門人材を2名配置しており、その経費が含まれている。

**問** 顔合わせの数や出会いイベントの参加者数、カップル成立数、参加者の声、相談内容等を根拠に事業を継続している。



※TNR活動…ノラ猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行い、元いた場所に戻す取り組みで、一代限りの命を地域で見守る活動。

一般質問

くすき ひろひこ  
**楠木 宏彦**  
(日本共産党)

能登半島地震でトイレの不足や衛生上の問題が明らかになっているが市の対策は

動画はこちら



**答** マンホールトイレ、トイレ処理剤で対応する。処理剤は必要な56万回分を備蓄している

**問** 津波被害者想定は理論上6000人。どのように犠牲者を減らすのか。

**答** 小中学校への外付けの避難階段、8か所の津波避難タワーを整備した。今後、地域での講習会、避難訓練の取り組みを市として支援していく。

**問** ベッドの備蓄・供給についてはどう考えているか。

**答** 段ボールベッドと簡易ベッドで600台を備蓄している。また、発災時には市内の段ボール製造事業者から段ボールベッドの提供を受ける協定を結んでいる。  
**問** 福祉避難所の備えはどうしているか。

**答** 高齢者施設・障がい者施設等25施設と協定を締結している。

**問** 仮設住宅の確保についてはどのような準備をしているか。

**答** 避難者の入居希望調査を行い、応急借り上げ住宅(約3000戸)を確保するとともに、応急建設住宅(約4000戸)の建設予

定地を確保する。住宅建設は原則県が行う。今後戸数の拡大にも取り組む。

**問** ペット同伴の避難についてどう考えているか。

**答** 飼い主に対して避難所での飼育ルールや避難用具の備蓄などについて啓発し、人とペットが安心して過ごせる避難所運営となるよう取り組んでいく。

**問** 災害関連死を防ぐ対策はどう考えているか。

**答** 発災直後は、病院や県と連携して医療体制を確保する。被災状況により、避難生活の長期化が想定される場合、避難所外も含め、市民の健康管理や心のケアを行う。また、市だけでは対応が困難なときは、市外からの応援を要請する。



一般質問

みやざき まこと  
**宮崎 誠**  
(新政いせ)

DX(デジタルトランスフォーメーション)による市民サービスの拡充について問う

動画はこちら



**答** サービスの利用率向上、セキュリティ対策等、課題解決に努め、デジタル化に取り組む

**問** オープンガバメントの促進についての認識は。

**答** 行政が情報の透明性を確保し、市民参画や官民連携の促進を目指すものと認識している。42種類、約1600件の情報をオープンデータとして公開し、アプリや学校の授業で活用されている。市民参画を促す取り組みとして、市民アンケート等のオンライン活用にも取り組んでおり、引き続き先進事例も参考に取組みたい。

**問** 脱炭素の取り組みについて

**問** 現段階の評価と課題は。

**答** 「ゼロカーボンシティいせ」を表明後、様々な取り組みを進め、企業と連携し啓発に努めている。市民生活や事業活動への脱炭素の浸透には時間を要している。脱炭素型ライフスタイルや脱炭素経営を実践して

いただけるよう、更なる浸透を目指し、市民、事業者の皆様にご理解とご協力をお願いしたい。

**問** 公共施設のZEB化や省CO<sub>2</sub>化を進める考えは。

**答** 公共施設を更新する際は再生可能エネルギーの導入や省エネルギー・省資源化に努め、順次、公共施設の脱炭素化を推進していく。

**問** 伊勢広域環境組合新ごみ処理施設の建設が予定される中、発電した電力は売電される計画と聞く。市の公共施設等において利用する考えは。

**答** ごみを燃やした際のエネルギーを利用した電力は、脱炭素化に大きく寄与するものと認識している。先進自治体の取組を参考にメリットや事業リスク、最適な利用方法等について、伊勢広域環境組合及び構成自治体とともに研究している。



※ZEB…ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称で「ゼブ」と呼ぶ。建築計画の工夫による日射遮蔽や自然通風、壁や窓の断熱、高効率な空調や照明等によって大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費するエネルギー量が大幅に削減されている最先端の建築物のこと。

# 広報広聴検討分科会・議会ICT検討分科会が先進地視察を実施しました

## 広報広聴検討分科会

視察項目：議会だより、議会の広聴活動について



広島県呉市（1月29日）



広島県廿日市市（1月30日）

## 議会ICT検討分科会

視察項目：議会ICTについて



神奈川県開成町（1月30日）



埼玉県所沢市（1月31日）



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTube配信も行っていきます。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。

議会放映

各種ご案内

6月定例会は  
**6月17日～7月3日**  
の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

3月定例会会議録

3月定例会の詳細は、「3月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ6月中旬に設置の予定です。  
また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

## 広報広聴検討分科会行政視察報告

### 視察日

令和6年1月29日(月)～30日(火)

### 視察先及び内容

#### ○広島県呉市「議会だよりについて」、 「議会の広聴活動への取り組みについて」

- ・市民に議会活動を分かりやすく周知するため、議会広報誌をオールカラーで印刷。写真を多用し、ホワイトスペースやレイアウトを工夫。
- ・冒頭の特集記事では、各種団体からの聞き取りや人物に焦点を当て、堅くなりがちな議会広報紙を市民に開いてもらいやすくしています。



#### ○広島県廿日市市「議会だよりについて」、 「議会の広聴活動への取り組みについて」

- ・「はつかいち子ども議会」を開催、全国市議会議長会において、市議会が取り組む主権者教育の先進的事例としても紹介されています。
- ・開催までに3回のプレ学習会を行い、市議会と執行部が丁寧に指導し、また、終了後の対応として、早ければ補正予算で事業化が実現するなど、参加者の満足度を満たすものとなっています。

## 議会ICT検討分科会行政視察報告

### 視察日

令和6年1月30日(火)～31日(水)

### 視察先及び内容

#### ○神奈川県開成町「議会ICTの取り組みについて」

- ・ペーパーレス会議システムを導入しており、議会活動をICT化。
- ・令和2年に議会ICT化に関する検討委員会を設置し、タブレット端末を全議員に配付。同年11月の臨時会において、ペーパーレス化の試行運用を開始。そして、令和3年9月の定例会議で完全ペーパーレス化（議会活動は全てタブレットで行う）を実現しています。



#### ○埼玉県所沢市「所沢市議会ICT化推進基本計画について」

- ・平成28年3月に所沢市議会ICT化推進基本計画を制定(令和4年5月にVer.2.0に改定)し、議会ICTを推進しています。
- ・グループウェアソフトを導入し、会議通知やスケジュール管理に活用しています。

## 表紙の題字は

二見浦小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は川井さんの「いせ」を採用しました。次回はみなと小学校の皆さんの中から採用予定です。



### 将来の夢

私は保育士に憧れています。  
安心して預けてもらえるような保育士になりたいです。

(小学校4年生の時に書いたものです。)

二見浦小学校5年 川井 穂乃華

# 議会ツアーに 参加してみませんか



伊勢市議会  
議会ツアーHP



議場・委員会室等の施設見学や議会の役割・仕組み等を議員・事務局職員が分かりやすく説明します。

社会見学やグループ等でご利用ください。  
所要時間の調整等も気軽にご相談ください。



- ▶ **対象者**：市内に在住または通勤・通学する方
- ▶ **実施日**：平日の9時～17時  
※定例会中（3月、6月、9月、12月）や会議等がある日を除きます。
- ▶ **申込方法**：1グループ5名様以上で申込書により、希望日時 of 2週間前までにお申込ください。
- ▶ **所要時間**：1時間程度を予定しています。  
(議会の役割や仕組みの説明、議場・傍聴席、委員会室、議会図書室等の見学、記念撮影等)

### 問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）  
〒516-8601  
伊勢市岩淵1丁目7番29号  
☎ 0596-21-5630  
FAX 0596-21-5631  
✉ gikai@city.ise.mie.jp

### 編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会

会 長	上村 和生	委 員	井村 貴志
副 会 長	久保 真		野崎 隆太
			野口 佳子
			品川 幸久